

令和5年度
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文
(社会基盤工学プログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で1ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

問題

近年、自然災害が増加・激甚化する傾向にあり、減災のための社会インフラ整備が求められています。しかし、整備すべきインフラ施設が膨大な数に及ぶにもかかわらず、1年に使用できる予算は限られています。

このような状況の中で、どのような方法で優先順位をつけて社会インフラを整備していくべきか、考慮すべき項目と順位付けの考え方に関してあなたの意見を説明してください。(600字以内)

【出題意図】

社会基盤工学は、社会との関わりが深い学問分野であるため、技術的な問題だけでなく社会的な状況も視野に入れた多面的な思考が求められる。

将来、社会基盤工学分野で活躍する技術者を目指す者として、社会基盤工学に関わる事例についての関心と勉学意欲を有しているか、また、学問を学ぶ上で論理的な思考力を有し、その思考を適切に文章表現できるかを問う問題を作成した。